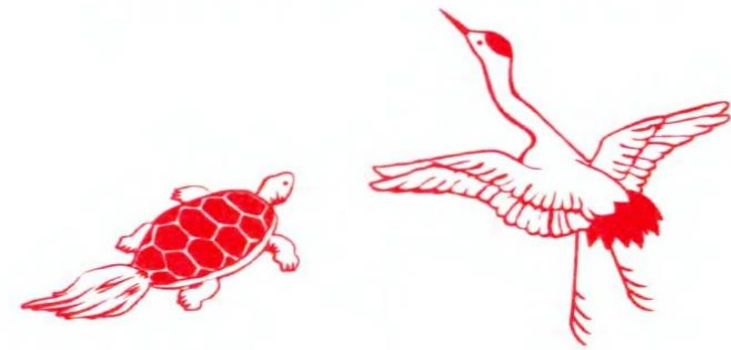


長寿祝い



還暦 かんれき
赤

六十一歳のお祝い。本掛廻りといつて暦の干支が六十一年で生まれた年の干支にもとることからこの名がいわれます。還暦祝いは、昔から赤ちゃんに還るといふ意味と、赤は魔よけの色ということから赤いちゃんちゃんこ、赤いずきん、赤い座布団など赤色のものを贈るしきたりがあります。

古稀 こき
紫

七十歳のお祝い。唐の詩人杜甫の詠んだ「人生七十年古来稀なり」から出ています。昔は短命な人が多く七十歳まで長寿を保つのは本当にまれであったのですが、今日では決してまれなものではなくなっています。

喜寿 きじゅ
紫

七十七歳のお祝い。喜の字を略すと「毘」となり七が重なるので七十七歳のお祝いをいいます。室町時代から始まったといわれ本来は厄年のひとつであったともいわれます。

傘寿 さんじゅ
紫

八十歳のお祝い。傘の略字「傘」の字が八十に見えるところから、この名がついたものです。

米寿 まいじゅ
黄

八十八歳のお祝い。「米」の字が八十八から出来ているところから米寿となり「米の祝い」ともいわれます。昔は近親・縁故を招いて祝宴を催し参会者に枡の斗掻や火吹竹を贈る風習があったそうです。

卒寿 そつじゅ
紫

九十歳のお祝い。「卒の祝い」ともいって「卒」の俗字「卒」が九十と読めるところからこの名が出ています。

白寿 はくじゅ
白

九十九歳のお祝い。「白字の祝い」ともいって、百の字から「一」の字をとると「白」となりまた百から「一」を引くと九十九になるところからこの名がついたものです。

百寿 ひゃくじゅ
時

百歳のお祝い。「百寿」とは、百歳の長寿のお祝いのことをいいます。数え年百歳のことを百寿または、「紀寿」これは百年「世紀」紀」から由来します。

(上寿)

日本の儀式、長寿祝いは、ちゃんちゃんこを着て、お祝いをします。

